

共同運営部門：手術センター

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
副病院長兼手術センター長 兼心臓・血管センター長 兼患者サポートセンター長 兼臨床工学・技術センター長 兼国際センター長	船津 俊宏

＜関連部署＞

部署名	部署名
麻酔科	外科系各科
腎臓内科	血液内科
臨床工学・技術部門 臨床工学	循環器内科

＜特色と概要＞

手術センターは病院りんくう側4階にあり、2024年6月に7室目の手術室としてハイブリッド手術室が増設稼働した。主な関係部署としては、手術センター、麻酔科、外科系各科、腎臓内科(シャント関連の手術)、血液内科(骨髄採取)、循環器内科(TAVI、ペースメーカー関連)、臨床工学・技術センター、薬剤部などがあげられる。また、症例や手術内容によっては臨床検査技師、助産師、事務、国際センター等の各職種や、小児科の医師とも協働している。

手術室は7室のうち原則6室を予定手術用とし、1室は緊急手術用としている。しかし、予定手術の増加に伴い、7室全てを予定手術が占めることもしばしばである。しかし当院の役割上、緊急手術も比較的高頻度に発生するため、柔軟な手術室運用を行っている。

＜実績＞

2025年度の月別総手術件数および麻酔科管理件数を図1に示す。COVID-19流行により2020年以降減少を余儀なくされていたが、今年度の総手術件数は昨年度より約150件増加して3,511件となり、初めて流行前の2019年を上回った。一方麻酔管理件数も昨年度より約120件増加して2,883件(アンギオ室や分娩室を除く)となったものの、流行前には届かなかった。

また手術枠の使用率を図2に示す。枠使用率は手術数と並んで、重要な手術センター稼働率の指標となるものである。85%の枠使用を一つの目標として定め、それを目指している。本年度においては、年平均で83.8%とやや目標を下回った。

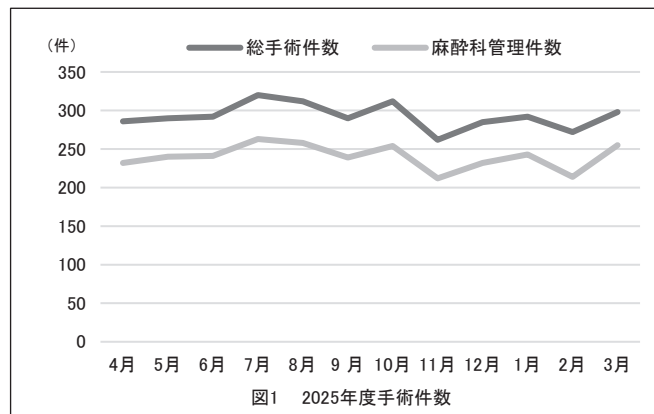


図1 2025年度手術件数

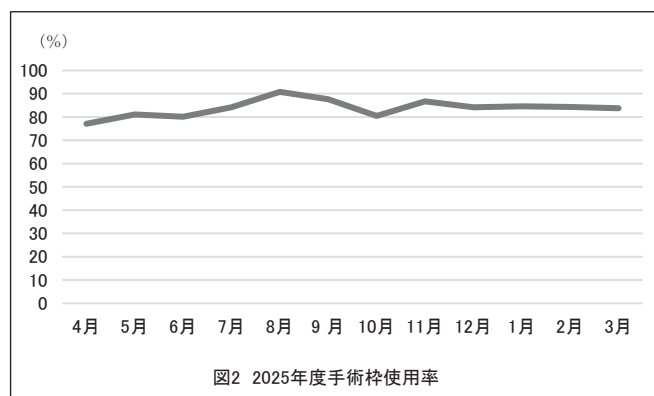


図2 2025年度手術枠使用率

＜今年度の成果と来年度への抱負＞

コロナ禍で低迷した手術総数は年次的に回復傾向にあり、ようやく今年度はコロナ禍以前の手術数まで回復を果たしたが、その間の手術室1室増室も踏まえると、来年度は更なる増加を目指す必要があり、外科系各診療科の一層の奮起が望まれる。

ロボット支援下手術は、今年度136例と順調に症例数を重ねているが、新年度の診療報酬改訂による手技料加算の要件である200例越えを達成するため、来年度も消化器外科、泌尿器科で一層の症例増加を目指すとともに、呼吸器外科では新規導入を視野に準備を進めている。また昨年度開始したTAVIは、今年度19例に実施されたが、年度末から症例数は右肩上がりに増加しており、来年度は更なる増加が見込まれる。